

基礎研究及び人材育成の強化 (検討資料)

1. 危機的な現状

基礎研究と人材育成は、科学技術イノベーションを支える基盤であるが、近年、論文生産の国際比較分析等において、我が国の基礎研究の国際的な地位の低下を強く危惧させる傾向が見られており、また大学等における若手研究者のポストの減少は、今後の我が国の科学技術の活力の減退を深刻に懸念させる状況となっている。

このような危機的な現状にあって、国家戦略としての長期的視野に基づき、基礎研究と人材育成の抜本的な強化を図ることが必要である。

2. 政策課題

基礎研究・人材育成に関して取り組むべき政策課題は多いが、現状においては、我が国の基礎研究の国際的な地位低下を食い止め、競争力の回復を図ることが最優先に掲げられる。またそのためにも、優秀な若手研究者の研究環境の整備を図ることが重要である。

3. 重点的取組み

研究力の強化を図る上で、限られた資源を有効に活用し、持続的に成果を挙げるために、選択と集中によって相互の競争を促しつつ、大学等が本来持つ力を最大限に引き出すアプローチを取ることが重要である。また成果の検証に関しては、客観的に検証可能で国際的に意味を持つ指標によって行うことが必要である。

こうした観点の下に講じられるべき主要な取組として、以下の3つを掲げる。

- ・国際的な水準で研究活動を展開する力を有する大学等を対象とした重点的な研究力の強化を図るため、世界トップレベルの研究拠点大学等の強化と、国際的な水準で研究活動を展開する大学群の厚みの増大に取り組む。
- ・効果的・効率的な研究を可能にするための研究資金の在り方の見直しを行う。
- ・優秀な若手研究者の研究環境の整備を推進する。

4. 取組みにおいて留意すべき視点

- ・研究力強化に関しては、各大学等自らのイニシアチブが尊重されること。大学等に対する支援は、あくまで自律的な改革を促すための呼水であること
- ・各大学等においては、内部の部局間や世代間の資源配分の見直しに自ら積極的に取り組むこと
- ・大学等に対する支援は、ある程度範囲を絞った中で力のある大学間の競争を促すとともに、客観的に検証可能でかつ国際的に意味を持つ指標に照らして、成果を出すことのできる大学等が持続的に支援されること
- ・大学改革推進のための大学資金の改善については、部分的な最適化ではなく、国全体のレベルで最大の成果が発揮されることを目指して見直しを行うこと